

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	J R 飯田線活性化期成同盟会 J R 飯田線めぐりスタンプラリー
事業主体 (連絡先)	J R 飯田線活性化期成同盟会 (伊那市役所企画部企画政策課 0265-78-4111 (内線 2144))
事業区分	⑧その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	1,445,990円 (うち支援金: 1,102,000円)

事業内容

- 運行車両をデザインしたスタンプを用い、楽しみながら飯田線や沿線地域を知る機会とする。
- 集めたスタンプ数に応じ、飯田線にちなんだ記念品を贈呈し、沿線地域や飯田線に親しむ機運を醸成する。
- 実施期間: 令和3年9月1日~令和4年1月31日
- スタンプ設置駅: 伊那松島駅, 伊那市駅, 沢渡駅, 駒ヶ根駅, 飯島駅, 伊那大島駅, 市田駅, 飯田駅, 天竜峡駅, 平岡駅

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- フリーペーパー(地域内)や鉄道雑誌(全国)への広告により、地域間の交流が図れた。(関東、中京圏等からの参加者も一定数あった。)
- 期間を長く設定したことにより、周知期間も長く確保することができ、利用促進等に繋がられた。
- スタンプ設置駅を県内飯田線駅の概ね北端と南端に設定したため、イベント参加者に沿線地域の魅力を再発見いただく契機とすることができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

コロナ禍により従来のイベント列車によるイベント開催が困難となったが、代替企画としてスタンプラリーを実施したところ多くの参加者から好評をいただいた。

今後も様々な社会情勢等に応じた企画立案により、飯田線のPR及び利用促進に努めるとともに、新たな利用者の開拓を図る。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【PRポスター】

【目標・ねらい】

- ①地域間の交流
- ②公共交通利用による環境負荷低減の啓発(CO₂飯田排出抑制)
- ③地域の活性化
- ④飯田線及び郷土愛の醸成
- ⑤利用促進

※自己評価【B】

【理由】新型コロナウイルス感染症対策をとりながら多くの方に参加いただき①③④に寄与できた。イベントを通じた②の取組についてはより積極的に取り組みたい。